



令和7年度 東京大学医学部医学科 基礎臨床社会医学統合講義

8/25 (月) 細胞を「創り」生命を理解する試み

コーディネーター
大出 晃士(システムズ薬理学)

9:00~10:20	武部 貴則 (東京科学大学/大阪大学/University of Cincinnati)	臓器再生への展望
10:30~11:50	加藤 和人 (大阪大学/University of Oxford)	ライフサイエンス研究の倫理的課題とガバナンス—ヒトゲノム研究・再生医学などを例に
13:00~14:20	宮崎 牧人 (理化学研究所)	つくことで紐解く、分子から細胞機能が自己組織化する仕組み
14:30~15:50	末次 正幸 (立教大学)	DNA複製系をセルフリー再構成した先に見えてくるもの
16:00~17:20	谷内江 望 (大阪大学)	遡る生物学

8/26 (火) 脳と人間—磁場で読み解く脳の構造と機能—

コーディネーター
渡部 喬光(ニューロインテリジェンス国際研究機構)/松崎 政紀(細胞分子生理学)

9:30~10:40	渡部 喬光 (ニューロインテリジェンス国際研究機構)	磁石と脳
10:50~12:00	四本 裕子 (東京大学)	時間知覚の神経機序に関する神経科学的研究と計算理論的研究
13:00~14:10	小川 誠二 (東北福祉大学)	MRIによる脳機能測定法の誕生とその脳科学への展開
14:20~15:30	竹村 浩昌 (生理学研究所)	白質線維束の可視化と解析

8/27 (水) 認知症を抱えた世界で生きる

コーディネーター
小川 純人(老年病科)

9:00~10:00	岩坪 威 (国立精神・神経医療研究センター)	アルツハイマー病への挑戦：分子病態から治療へ
10:10~11:10	井原 涼子 (東京都健康長寿医療センター)	抗アミロイドβ抗体薬診療の現状と課題、そして将来の展望
11:20~12:20	武田 朱公 (大阪大学)	革新的な認知症デジタルバイオマーカーの開発と臨床応用・社会実装・海外展開まで
13:30~14:30	二宮 利治 (九州大学)	疫学的視点から見る認知症発症リスク低減の可能性：久山町研究の知見を中心に
14:40~16:10	三橋 良博 (認知症の人と家族の会)	認知症の人と共に生きる ～忘れても心は生きてる認知症～
16:20~17:20	黒田 秀郎 (厚生労働省 老健局)	認知症施策の動向

8/28 (木) 腸内細菌叢の謎を解く

：微生物たちの世界を探る

コーディネーター
中澤 栄輔(医療倫理学)

9:10~10:10	植松 智 (大阪公立大学)	腸内細菌叢のメタゲノム解析
10:25~11:25	長谷 耕二 (慶應義塾大学)	Raison d'être of gut microbiome: Immune regulation & Beyond
12:25~13:25	小田巻 俊孝 (森永乳業株式会社)	かがやく"笑顔"を目指した腸内細菌叢研究
13:40~14:40	山村 隆 (国立精神・神経医療研究センター)	多発性硬化症のトランスレーショナル研究：腸内細菌叢の研究から新しい医療へ
14:55~15:55	竹田 潔 (大阪大学)	腸管恒常性の維持機構

8/29 (金) 有事医療とリソース分配

コーディネーター
東 尚弘(公衆衛生学)

9:00~9:10	東 尚弘 (東京大学)	イントロダクション
9:10~10:10	迫井 正深 (厚生労働省 医務技監)	コロナパンデミックから医療は何を学ぶのか
10:25~11:25	阿南 英明 (神奈川県立病院機構)	COVID-19パンデミックの経験から見る健康危機管理と社会コミュニケーション
12:25~13:25	近藤 祐史 (厚生労働省 医政局)	健康危機管理
13:40~14:40	西村 康稔 (衆議院議員)	コロナ禍の意思決定を振り返る、次なるパンデミックに備えて
14:55~15:55	尾身 茂 (結核予防会)	新型コロナ これまで、これから
16:10~17:10	清住 哲郎 (防衛医科大学校病院)	防衛省・自衛隊と有事医療—平時と非常時をつなぐ医療の役割—

学内公開に関して

基礎臨床社会医学統合講義は医学部生を対象とした対面講義ですが、オンラインにて学内構成員にも公開する予定です。
聴講を希望される方は、<https://forms.gle/SJ6Y9SBMvn4MWu9B8> または右のQRコードより受講登録を行ってください。
お問い合わせ先：tougoukougi25@gmail.com (2025年度統合講義実行委員会)

